

# 令和2年度全国優良経営体表彰

## 大臣賞など41事例を選賞

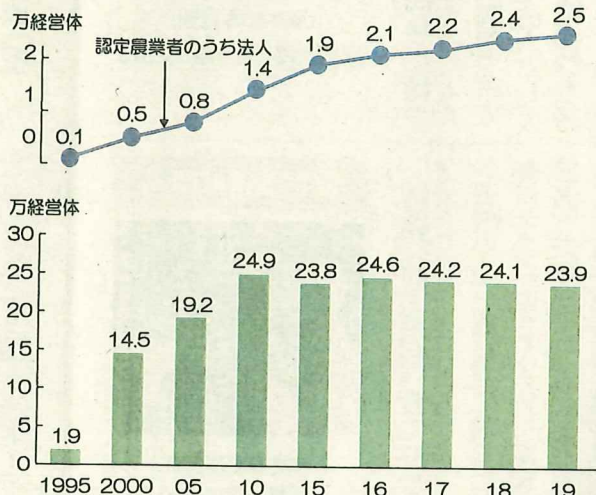
農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を表彰する「令和2年度全国優良経営体表彰」の受賞者が決定した。経営改善、生産技術革新、6次産業化、販売革新、働き方改革、担い手づくりの各部門において、農林水産大臣賞など計41事例が選賞された。

### 知恵と工夫にあふれる事例参考に 経営改善や地域発展に取り組もう

同表彰は、意欲と能力ある担い手の一層の経営発展を図るため、自らの農業経営の改善や先進的な技術の活用、6次産業化、消費者ニーズを踏まえた独自の市場開拓などに取り組み認定農業者の他、農業の働き方改革や、担い手の経営発展を支える

認定農業者は1993年の制度創設以降、中心

図1 認定農業者数の推移



(注) 農水省調べ。共同申請を除く。各年3月末の数値

経営体としての重点的な支援もあり、その数は2010年まで右肩上がりで増加した。近年は横ばい傾向にあり、19年3月末時点で23万9千経営体、うち法人の数は2万5千経営体となっており、着実に増加している(図1)。

制度創設から四半世紀を経て現場に着実に定着したものの、65歳以上が37%を占めており(図

2)、「高齢化」「後継者問題」が大きな課題となっている。

新たな食料・農業・農村基本計画でも、農業の持続的発展のために担い手の育成・確保が掲げられている。人・農地プランの実質化に伴い、同プランに位置付けられる認定農業者自らの研究はもちろんだこと、田舎な経営継承による世代交代が進むよう、関係機関の支援も求めら

2)、「高齢化」「後継者問題」が大きな課題となっている。

同表彰の受賞事例は、経営の改善・発展はもとより、地域農業の活性化に結びついたり、新たな知恵や工夫にあふれている。経営合理化への足がかりを示し、農業者の経営の改善・発展につなげ、さらには、地域農業の発展・活性化が図られるためにも、受賞事例が広く普及され、農業者や関係者の取り組みの参考となることを期待したい。

### 令和2年度全国優良経営体表彰 受賞者一覧

I 経営改善部門	
1. 農林水産大臣賞	
静岡県川根本町	(農)川根美味しいたけ
新潟県南魚沼市	(畜)小澤農場
兵庫県南あわじ市	アイ・エス・フーズ(株)
鹿児島県長島町	(株)宮路ファーム

経営改善部門③



兵庫県南あわじ市  
アイ・エス・フーズ(株)  
(酒井恵司 代表)

経営規模：青ネギ 17.5%

生産拠点を複数整備し周年出荷

青ネギを専作する農業法人。周年で年4回転生産し、青ネギに特化した法人としては全国トップクラスの作付面積90畝を誇る。兵庫県淡路島と四国4県に生産拠点を構え、安定した生産量を確保し、全量契約販売に取り組む。

5カ所にまたがる生産拠点の整備は、周年出荷や安定した生産量の確保に加え、災害への備えにもなっている。また、各生産拠点において契約農家を確保するとともに、全国の青ネギ生産の大規模法人7社と任意組織「青ネギJAPAN」を立ち上げ、情報共有や災害時に納品を協力するなど、リスク分散と経営の安定化に努めている。

主に後継者不在の農家の農地を農地中間管理機構を介して借り入れており、耕作放棄地の発生防止にも貢献。圃場は毎年、土壤検査を実施し、分析結果を踏まえた作り方を研究して作付けしている。また、圃場や農作業など営農に関する情報を記録・集計できる営農支援ツールを活用し、圃場管理している。

南あわじ市にある本社は、主として販売部門を担い、青ネギは約120社のカット野菜工場などの取引先に出荷し、利益を拡大している。